

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員と地域おこし協力隊員からお知らせします。

営農指導員のワンポイントアドバイス

番外編

このコーナーは、営農指導員から農業のちょっとしたコツをお知らせしていますが、今回は作った野菜などを出荷できる「産直市」の紹介をします。

「わいわい高原市場」へ出荷してみませんか？

広島県の北の玄関口として、県内外から多くの人が訪れる「道の駅たかの」。その駅舎内にある農産物等直売所「わいわい高原市場」では、庄原産にこだわった新鮮で安全な地場農産物や加工品などを販売しており、平成27・28年度の売上高は2年連続で4億円を超えています。

まだ出荷者登録をしていない農家の皆さん！農産物や加工品などを出荷して、所得アップを目指しませんか？

●「わいわい高原市場」出荷者協議会に加入するには？

▼市内に住所を有する個人または団体、ならびに本社機能を有する法人に限られ、資格審査も必要となります。

- ▼入会金 5千円
- ▼年会費 2千円（入会初年度は免除）

●「わいわい高原市場」について

▼委託販売ですが、「出荷者自らが運営する」気持ちを持ち、自分で商品の管理をしてください。直売所は、出荷者の皆さんの売り場です。

▼出荷者は商品に自分で価格をつけ、自分の責任において、出荷をしてください。

▼売れ残った商品は、原則として当日の夕方に引き取ってください。

▼どんなものが売れるのか、売れ残りを出さない工夫など、分からないことはスタッフにお尋ねください。



わいわい高原市場についての問い合わせ

道の駅たかの
☎ 0824・86・3131

問い合わせ

高野支所地域振興室
☎ 0824・86・2113

女性からはじめる獣害対策

地域おこし協力隊 草谷 夏枝

被害、見過ごしていませんか？

●ヌートリアにも対策を！

無事に田植えが終わったと思ったら苗が何かに食べられた！田んぼにジャンボタニシがいらない場合、シカかヌートリアの被害の可能性があります。

ヌートリアには、電気柵の場合は地面から10センチの所にもう一本電線を追加。畑ではトタンも効果的です。水路や排水管が侵入経路になりますので、忘れず対策をしましょう。

水辺を好み、巣を作るヌートリア。年に数回出産し、一度に5〜6頭産むといわれています。耕作している、していないにかかわらず、集落に住み着く前に追い払う、食べさせない、増やさないという意識を持ち、一人一人が「行動することが大切です」。



水路には白線部の電線を追加。（本村町野谷のヌートリア対策）

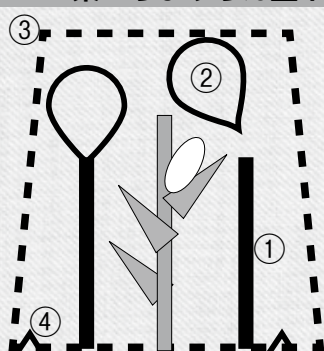
●「夏の鳥獣お悩み座談会」

6月に開催した「夏の鳥獣お悩み座談会」では「イノシシ対策のサツマイモの竹マルチ」や「弾ボール（※）を使った防鳥ネット」の設置体験を行いました。

この防鳥ネットは、丸くちようちん型にした弾ボールで滑りよくネットを張ることができます。とても簡単にできますので、ぜひ試してみてください。

※弾ボールとは「グラスファイバーボール」といって、細くて長く弾力のあるボールです。用途によって長さを選んで使用します。

★弾ボールを使った楽々ちようちん型ネットの張り方



- ①パイプを立てる。
- ②弾ボールを輪にしてパイプにさす。数本用いてちようちん型に。
- ③網をかける。
- ④網の下を地面に固定。

問い合わせ

林業振興課林業振興係
☎ 0824・73・1124